



大和中ロータリークラブ会報

REACH OUT...

手をさし伸べよう...

R.I 会長 クレム・レスーフ

第 10 回 例会 1978 年 8 月 31 日 (木) 晴

第16号

出席報告

出席数	出席率	出席率	前回の値
25	23	100 %	100 %
出席者			

矢野会長テーマ 友情の輪をひろげよう

司会 蜂屋副会長代行

ゲスト

星 特別代表

ビジター

石井義久君, 大石芳文君, 宮東悠君, 黒沢安雄君,
土屋巖君, 梶山禮義君 (大和)

会長報告

蜂屋副会長代行

地区年次大会について

当クラブとしては、初めての大会参加ですので
必ず出席されるよう、お願いします。

会員増強について

当クラブの最大の行事ともいえる、チャーター
ナイトの準備も発足の段階に入りました。会員の
増加を図り、成功させたいと思いますので、会員
一人が一人の会員を増加させる意気込みで、会員
の増強を図りたいと思います。皆様の御協力をお
願いします。会員紹介カードは、会員増強委員長
のところを用意しております。

・矢野会長がご入院されて1ヶ月になります。ま
だ面会謝絶ですが明日クラブを代表して御見舞

に参ります。次回その様子を御報告致します。

幹事報告

- 8月26日(土)第9回例会は例会日並びに例会場
の変更にもかかわらず、皆様の御協力により、
クラブフォーラム、及び会員懇親会が和気藹藹
のうち終始し、相互の親睦と信頼の度を深め合
うことが出来たことと、行事の所期の目的
を果すことが出来たこと、皆様のご協力を
感謝いたします。(会計報告あり)
- 地区年次大会の登録料の払い込みをお願いします。
- 本日、例会後臨時理事・役員会を開催いたし
ます。理事、役員の方の御出席をお願いします。
- 本日お配り致しましたクラブ活動計画書を紛
失いたしませんよう、大切に请使用下さい。ガ
バナ公式訪問の際にも使われますのでよろし
くお願いします。

本日のプログラム (9月7日) 猪熊君
イニシエーションスピーチ 伊藤君 亀谷君
次週予定 (9月14日)
「青少年問題」 伊藤茂がバナー・ノミニ

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か

3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

事務所 : 大和市中心1-5-40
及び 大和市商工会館内
例会場 電話0462(63)7926

例会日 : 毎週木曜日12時30分より
会長 : 矢野久元 副会長 : 蜂屋良平
幹事 : 長谷川清一 会報委員 : 土屋・郡司

星 特別代表

昭和49年、東京 258地区（当時358地区）のガバナーをされた佐藤千壽さんの著書「ロータリーは人をつくる」が2冊手に入りましたので順次回覧して下さい。最後はクラブの蔵書として保管して下さい。

委員会報告

親睦活動委員会

猪熊委員長

○本日は次の方のお祝がございます。

結婚記念日 松本忠明君（9月3日）

○第1回家族会を10月15日(日)に行います。御夫人お子様方の参加をぜひお願い致します。

理事会報告（8月31日開催）

臨時理事会に於て次の事を決定しました。

1. 携帯に便利で、利用し易い簡易な会員名簿を作成することになりました。
2. チャーターナイトの準備を進めるため、チャーターナイト準備委員会の正副会長と、業務を分担する小委員会及びそのメンバーを決めました。
3. 大和市が制定している福祉の日に、大和RCと大和中RCが共同して、無料健康相談を行うことになりました。（10月15日）

イニシエーションスピーチ

・郡司 守君

私は大和に来て15年になりますが、表に出る機会が少なく、今まではごく一部の方としかお付合がありませんでした。今度ロータリアンとしてお仲間に入れて頂き良かったと思っております。

私の会社は以前横浜の石川町にありましたが現在は、本社経理を除いて全部大和でやっております。仕事は車体工業の部品加工をしております。

私は群馬県伊勢崎市で生まれ、3才の時東京南千住に移りましたが、戦争と共に再び伊勢崎へ疎開し、高校を卒業し、純正社（現在の白十字）へ勤め、昭和36年縁あって現在の会社の社長の婿養

子となり、現在大和工場を任されております。

私は戦争中大変に**ひもじい**思いをしましたので今だに車で街を走っていても、食堂や菓子屋の看板ばかり目に付きまして、食いしん坊なものですから最近は少々太り気味になってしまい、減量に心掛けています。

私が高校を卒業した頃は大変な就職難だったのですが、親せきの方の紹介で純正社に入ることが出来ました。又現在の生活を得られた事を考えてみますと、自分なりに運があったと自負しております。環境が良くないと何か負い目を感じ、これではいけないと思っていた時、RCの話があり、これも私に運が向いて来たと考えています。自分の運を大切に今後もやってゆきたいと思っています。ロータリーに入っても、自分なりに一生懸命やってゆきたいと考えておりますのでよろしく。

・蜂屋良平君

私の事は第3回例会の会報に載っておりますので御承知の事と存じますが、福島県相馬市で生まれました。相馬というところは、皆様よく御存知の相馬盆唄、新相馬節など民謡の盛んなところです。又大平洋にも近く約4kmで松川浦へ出ます。

旧制の福島県立相馬中学を昭和9年に卒業し、いすゞ自動車の前身であった東京自動車工業に入社しました。その当時仕事が厭で辞めようかと何度も思いましたが、父に叱られ「3年間我慢しろ」と言われ、そのうちに仕事仲間も、友人も出来、仕事にも慣れ、辞めないで済みました。戦争が激しくなってきた頃、第1回の技術者検定に合格し、漸く凶面も書けるようになりましたが、昭和18年27才の時兵隊になり、仙台で飛行機の整備をやらされました。そこではエンジンのオーバーホールなど、2年間の訓練を受け、埼玉県の児玉へ行きましたが、戦争末期で飛行機などなく、もっぱら飛行場の掃除をやっているうちに終戦になりました。戦後再び東京自動車工業に戻ったのですが、その時は社名もいすゞ自動車になっていました。昭和45年11月停年後、いすゞ自動車の運送をやっている谷口運送に入社し、51年3月までのんびりと勤めました。51年4月現在のいすゞ自動車社長

の励めで無理に日本トラックの経営を任せられ、赤字会社を漸く黒字会社に転向することが出来ました。現在の和営業所の場所は、国道246号のバイパス用地となった為、福田に来年5月に移転する事となり、本社も福田になりますので、それからは時間も出来ますので、その分クラブ活動に励みたいと考えております。よろしく。

・長谷川清一君

私は、大正14年7月に唐人お吉で知られていた伊豆の下田在の草深い田舎で生まれました。生家は百姓でした。出生間もなく（お七夜前だそうです）母方の親せきに養子に行き、そこで育ちました。

私の住が京橋で勝どき橋に近い所でありましたことも手伝って、海軍経理学校の生徒さん達によく出合ったものでした。昭和16年に海軍に入り、海軍の学校で所定の学問と訓練を受けた後、色々な勤務につきましたが、失敗を重ね乍ら経験を積み、戦艦「武蔵」に乗せられました。私が武蔵に乗艦した頃は、呉の海軍工廠で艦装中でした。艦隊訓練が終り、いよいよ出港、戦争への不安とまだ見たことがない所へのあこがれで複雑な気持ちでした。やがて山本大將が戦死され、国葬の為に帰国し、再び今度は戦闘のために出撃し、私は初めて海戦というものを経験しました。

レイテ湾の戦闘に向うことになり、出撃準備完了、戦闘用意良し、その時突然「お前は内地に出張せよ」という命令があり、武蔵を退艦し、空母に乗り内地に帰る途中にその空母が大破する等いたしました。私もこの時負傷し、病院に収容され手厚い看護のお陰で元気になりました。

やがて終戦、私はこの時くらい困ったことはなかったのです。私はプロの軍人だったので、終戦で総べてを無くしてしまいました。働くことを知らない。戦争のための管理はできても、平和経済の仕事なんて何もない。知識もない。困りました。ほんとに迷いました。

そういう時にも段々と慣れて、やがて職にもつけるようになりました。建築会社に、横浜税関の渉外、そして中小企業団体の指導の仕事と移り、44年8月に経営指導等を業として、自営しております。

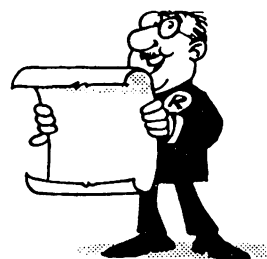
私は、大和中R Cに入会した時、幹事の仕事を引き受けるようになった時、先輩の処へ相談に参りました。「幹事は大役らしい」と先輩曰く。

「それはね、君自身が幹事を務めてみなければ解らないことだよ、そして世の中はいつも大変でないことは一つもないよ、また大変なんてことは一つもないかも知れない。例えば、君自身こんなつまらないことと思っても、他の人は命がけかも知れないからね。」

私は現在一人で仕事をしております関係上、ロータリーの仕事に時間をとられることは、収入の面からも楽なことではない。せめて親父が財産でも残しておいてくれたら、なんてことを申しましたら先輩は、

「君はどうして年甲斐もない、形のある財産だけ気をとられるのかね。考えてみなさい。昔から形のあるものはいつしか必ずなくなるよ。それも全部なくなる時がくる。君は、現に自分の職業を通してそのことを経験できているではないか。例えば、会社更生の可否とか、財産管理人とかで充分経験できている筈だ。それよりも親から子供へ、代々伝えられている偉大な財産の存在を知るべきだよ。それはね、親は、我が子を抱き口移しに言葉を教える、物のしぐさを教える、又それに思いやる心を教えてくれる。君が今、人の話を聞き、或は語り、共に考え、いたわり励まし合う心、これを永久不滅の財産と知るべきだよ。小金が出来、社会的地位を得られたことは、親から受けたこの永久不滅の財産の果実だよ。ロータリーの仕事がどんなことかは知らないが、任期一杯やってみて、結論を出したらよい。」

と教えてくれました。只今、五里霧中で走っています。皆様の一層のご協力をお願いします。



Charter Member's Profile



佐藤 会員

夏の全国高校野球、横浜対岐阜商の試合が、横浜の惜敗に終わった。例会後会場でこの試合をTV観戦しておられた佐藤さんにお話を伺いました。

—スポーツはお好きですか……？

「ええ、ひと通りやりました。今日は横浜が敗けて残念ですが、高校野球は見ていて気持ちが良いものですね。」

—早速ですがRCについて……

「仕事が車体工業と関係ありますし、大和RCの永野初代会長や先輩もRCに居りますのである程度は知っておりましたが、それも奉仕をする会で、週に一回行かなければならない……そんな程度です。」

—RC例会について……

「役をおおせつかり大変だと思っています。やっていけるかどうか不安感がありましたがこのごろはそれも解消しつつあります。」

佐藤実、大正13年2月生、新潟県出身。54才、生後間もなく川崎に移り、川崎工業学校卒業後、プレス工業へ入社。早稲田高等工業へ通い乍ら勤務。その後召集、浜松三方航空教育隊へ。能登半島で集結訓練中、終戦となる。戦後再びプレス工業へ、そして車体工業創立で大和へ移るが、後に京浜工業常務を経て現在の三和建鉄(株)代表取締役役に就任。昭和33年大和へ、南林間在住。

—国際奉仕委員長としてひと言……

「地域社会の身近なところの奉仕から、奉仕を望んでいる世界の地域へ目を向けてみる

必要があるのではないのでしょうか。やれることは沢山あるように思いますが、それをどう結びつけていくかが国際奉仕委員長の課題だと思っています。これは一つのクラブでは仲々出来ない事です。他のクラブと手を結んでやっていかなければなりませんね。」

—今後のRCに望むものはありますか……

「だんだん気心もわかって来ましたから、うちとけて、ざっくばらんにお付き合い出来るようになればと思います。」

一男一女のお子達もそれぞれ大学に進まれ、「子育ての苦勞から解放されたけど、会社の仕事が忙しくなり、趣味の釣にも仲々行けません。」と語る佐藤さん。「昔、横須賀沖で1m以上もある大きな平目を釣り上げたのが自慢の種です。」と、その時の事を思い出され、うれしそうに話してくれました。

(土屋会報委員)

スマイルBOX

大和RC 大石会員、何となく……。

大和RC 黒沢会員、お邪魔します。

長谷川会員、8月26日、クラブフォーラムも皆様の御協力で無事終了しました。有難うございました。

亀谷会員、先日の鶴巻での懇親会、中座しました。その上親睦委員長以下皆様に大変気持ち良く遊ばさせていただきました。御礼をかねて……。

藤田会員、鶴巻温泉での例会には出席出来ませんでした。(大和RCにてメーカーアップ) 御容赦下さい。

松本会員、結婚記念祝。結婚、創業すべてが10年目になります。過ぎてみると早いものだと思います。